

報道関係各位

2024年2月吉日

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン

2024年3月22日(金)開催・LINK-J主催イベント 告知記事掲載のお願い

がん領域の創薬シーズや技術アイデアを有する5チームが競う
「革新的がん治療に繋がる研究シーズ・技術シーズ
ピッチコンテスト」
＜観覧者募集＞

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（本社：東京都中央区、理事長：岡野栄之、以下LINK-J）は、2024年3月22日（金）、「柏の葉ライフサイエンスフロンティアで躍進するイノベーション」イベントシリーズの一環として、アステラス製薬株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：岡村直樹、以下「アステラス製薬」）と共催で、「革新的がん治療に繋がる研究シーズ・技術シーズ ピッチコンテスト」を実施いたします。つきましては観覧者を募集いたしたく、本イベントについて、ぜひ貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。なお、メディア取材に関しましては、後日別途ご案内いたします。

今回のイベントの舞台である柏の葉エリアでは、国立がん研究センター、東京大学柏キャンパスなどで形成される、国内屈指のライフサイエンスクラスターが確立されています。LINK-Jは柏の葉エリアにおいて、イベント開催を通じたライフサイエンス領域のコミュニティ形成促進を支援してまいりました。また、アステラス製薬は、柏の葉に程近いつくばにグローバルファーマとしての創薬機能を有し、「三井リンクラボ柏の葉1」内にがん微小環境研究の拠点を開設しております。

事前の書類審査を勝ち抜いた5チームが、ピッチに臨みます。各チームには、豊富な創薬・モダリティ開発経験を有するアステラス製薬の現役専門家や、がんの臨床試験/トランスレーショナル研究をリードするアカデミアの専門家、ベンチャーキャピタルの専門家による「事前メンタリング」を提供しており、研ぎ澄まされた創薬ビジョンに基づくピッチが期待されます。また、ピッチ審査にあたっては、審査の視点やスタートアップ評価ポイント等について座談会形式で解説いたします。観覧者の皆様にも、本コンテストを今後の研究・事業化のヒントを得る機会としていただくことで、柏の葉つくばにまたがる創薬エコシステムの構築と、さらなるオープンイノベーションの加速に繋がりたいと考えております。

開催概要

- 日時：2024年3月22日(金)13:00～16:00頃(12:45開場)
- 場所：リアル会場 柏の葉カンファレンスセンター
(千葉県柏市若柴178番地4ホテル&レジデンス棟2階(三井ガーデンホテル柏の葉2階))
オンライン会場 Zoom Webinar
- 参加費：無料
- 定員：リアル会場 200名/オンライン視聴 1000名
- 主催・後援

主催:LINK-J 共催:アステラス製薬株式会社

協賛:三井不動産株式会社、株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC)、株式会社ファストラックイニシアティブ(FTI)

プログラム

柏の葉ライフサイエンスフロンティアで躍進するイノベーションシリーズ
革新的がん治療に繋がる 研究シーズ・技術シーズ ピッチコンテスト
astellas × LINK-J
3.22 金 13:00-16:00
一般観覧者募集
● 柏の葉カンファレンスセンター
● オンライン (ZOOM Webinarで配信予定)

12:45 開場

13:00-13:15 Opening Remark 志鷹 義嗣(アステラス製薬株式会社 専務担当役員 研究担当)

13:15-13:30 講演 国立がん研究センター 先端医療開発センター センター長 土井 俊彦 氏

13:30-15:10 ファイナリストピッチ
ピッチ最大 10 分+質疑応答最大 10 分×5 チーム

15:10-15:30 柏の葉、つくばエリアにおけるオープンイノベーションの取り組み紹介
アステラス製薬株式会社、三井不動産株式会社

15:30-15:50 審査員による座談会:審査の視点、スタートアップ評価ポイント等の解説

15:50-15:55 結果発表・表彰式

15:55-16:00 Closing Remark 高橋 俊一(LINK-J 事務局長)

16:00 閉会

※プログラムについては変更の可能性もございます。

登壇チーム・プロジェクト(ランダム登壇順)



株式会社アンチがんテクノロジーズ
研究代表者：東京医科歯科大学・特別名誉教授 中山 敬一



株式会社 SCM バイオメディカ
代表取締役 田中 義正



チーム名 : Safe T
研究代表者名 : 国立がん研究センター先端医療開発センター免疫療法開発分野
中面 哲也



東京核酸合成株式会社
代表取締役 松井 雅章



国立大学法人東京大学 定量生命科学研究所 特任助教
研究開発代表者 林 寛敦

優勝賞品

【研究奨励金】

1000 万円 （アステラス製薬による提供）

【研究環境の提供】

- ① アステラス創薬研究開発専門家およびがん臨床治験・トランスレーショナル研究専門家などによる定期的なメンタリングを実施（2年間）
- ② ラボ無償利用（1年間）：アステラスつくば研究センター内のシェアラボ「SakuLab-Tsukuba」の1ベンチ、または「三井リンクラボ柏の葉」内シェアラボの1ベンチ（※）
- ③ LINK-J 2024 年度 特別会員資格
- ④ 「アステラス柏の葉 TME iLab」における最先端の空間解析機器（CosMx、Visium）の使用（実験に関する費用は優勝者負担） 使用するか否かは優勝者の任意

※ 優勝者には、アステラス SakuLab-Tsukuba あるいは三井リンクラボ柏の葉内シェアラボへの入居にあたり、別途契約を締結していただきます。要望があればラボの見学を実施します。契約締結後、速やかに研究を開始していただきます。

ピッチコンテスト審査員



守屋 隆一 氏 アステラス製薬株式会社 イムノオンコロジー部門 部門長

北海道大学大学院薬学研究科修了後、2000年に万有製薬株式会社（現MSD）に入社。研究部門にて創薬研究に従事し、新規創薬標的の探索から開発候補品の創出に携わる。2009年アステラス製薬株式会社に入社。つくば研究所にて抗体創薬、米国子会社 Agensys 社にて Antibody Drug Conjugate 研究に従事。2016年から研究戦略部門にて研究組織の設計や創薬研究プロセスの立案に関わった後、2018年から4年間、ターゲティング医薬研究室室長として抗体、遺伝子治療、細胞治療の社内PJに携わるとともに、複数のUS・UKバイオテックとの共同研究をリード。細胞治療の品質、プロセスおよび戦略を担当する Primary Focus Modality Lead を経て、2023年10月よりイムノオンコロジー部門 部門長。薬学博士。



増永 太郎 氏 アステラス製薬株式会社 創薬アクセレレーター部門長

入社後、研究員として免疫分野（アレルギー、自己免疫、移植領域）での創薬研究に従事。米国への出向を3度経験、シカゴでは移植領域での研究マネジメント、西海岸ベイエリアでは米国のベンチャー投資・提携探索によるアカデミアやバイオテックとのネットワーク構築、ボストン・ケンブリッジでは新規研究組織の立ち上げを行う。USバイオテックのNew Co立ち上げ、提携、共同研究、買収、PMIに関わることで、ライフサイエンスエコシステムでの Agile な創薬に感銘を受ける。全社戦略部の科学戦略グループリーダー、研究本部の戦略部長を歴任し、2021年10月より現職。研究組織にUSバイオテックの仕組みを導入したベンチャーユニットを組成し、一日も早く患者さんに新たな価値を提供することを目標に活動している。



土井 俊彦 氏 国立がん研究センター 先端医療開発センター センター長

1989年岡山大学医学部卒業、1994年岡山大学大学院医学研究科第一内科修了。1994年国立病院四国がんセンター内科。2002年国立がんセンター東病院内視鏡部。2004年同院内視鏡部消化器内視鏡室医長/病棟部病棟医長。2009年7月から2014年5月同院治療管理室室長併任。2012年から消化管内科長を経て2013年早期・探索臨床研究センター先端医療科長 / 消化管内科長併任。2014年から2022年まで副院長（研究担当）を兼務。2015年から先端医療科科長、先端医療開発センター新薬臨床開発分野長。2022年4月より先端医療開発センター長兼橋渡し研究推進センター長就任。医学博士。日本内科学会認定医・指導医、日本消化器病学会認定指導医。

【専門領域】近年では、第I相臨床試験を中心に早期新薬開発、再生医療・細胞医療、バイオマーカー探索や画像解析、また、AI・IoTを利用した医療インフラ整備等にもかかわる。



木村 紘子 氏 株式会社ファストトラックイニシアティブ プリンシパル (FTI)

学位取得後、コンサルティング会社にて、ライフサイエンス・ヘルスケア領域、情報・通信領域等における中期経営計画策定、新規事業戦略立案、新事業領域・海外展開に向けた提携支援、M&A アドバイザリー業務等に関与。2013年8月より株式会社ファストトラックイニシアティブに参画し、主にバイオ領域（創薬基盤技術、創薬開発、再生医療、医療機器等）における、アカデミア発スタートアップ企業のソーシング、投資評価、設立支援及び経営支援に従事。現在、担当投資先企業に社外取締役として参画。2017年

3月まで東京大学大学院薬学系研究科特任助教を兼任。

東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士（医学）。AIPE 認定知的財産アナリスト（特許）。監訳書に、「アカデミア創薬の実践ガイド スタンフォード大学 SPARK によるトランスレーショナルリサーチ」（東京大学出版会）がある。



宇佐美 篤 氏 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC) 取締役・パートナー、LINK-J サポーター

東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻にて神経科学、薬理学を研究。博士号取得、薬剤師。ライフサイエンス分野を中心とするシード/ アーリーステージ投資を担当。オリシロジェノミクス株式会社（2023年 Moderna, Inc. により M&A）、Repertoire Genesis 株式会社（2022年 Eurofins Scientific SE により M&A）の共同創業からの支援に加え、現在、投資先のエディットフォース株式会社、bitBiome 株式会社、BUGWORKS RESEARCH, INC. の社外取締役等を兼任。AMED 課題評価委員や MEDISO サポーター等を務める。UTEC 参画以前には、株式会社三菱総合研究所にて、ライフサイエンス及び他分野製造業メーカに対する新規事業戦略立案、経営計画策定支援等の業務に従事。

三井リンクラボ柏の葉1について

<https://www.mitsui-linklab.jp/location/kashiwanoha1/>

SakuLab-Tsukuba について

<https://www.astellas.com/jp/innovation/open-innovation/labs/tsukuba>

アステラス製薬 最先端の空間バイオロジーを駆使したがん微小環境研究のオープンイノベーション拠点を三井不動産「三井リンクラボ柏の葉1」内に設置 <https://www.astellas.com/jp/news/28106>

■一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J) について

LINK-J は、三井不動産株式会社と産学の有志が中心となって設立した一般社団法人です。医薬関連企業が集積する東京・日本橋エリアを本拠地に、産官学連携によるライフサイエンス領域でのオープンイノベーションを促進し、新産業創造を支援することを目的としています。医学をはじめ、理学や工学、ICT や人工知能といった新たなテクノロジーなど、あらゆる科学の複合領域であるライフサイエンス領域において、分野を超えた内外の人的交流・技術交流を促進していきます。 <https://www.link-j.org/>

本日、この資料は次の記者クラブに配布しています。

- 経済産業記者会 ○文部科学記者会
- 本町記者会 ○厚生労働記者会 ○厚生日比谷クラブ

<本リリースに関するお問い合わせ先>
LINK-J 広報担当 株式会社ブラップジャパン 相良/城島
TEL: 070-2161-6992 (相良) 070-2161-7021 (城島)
E-Mail: link-j-pr@prap.co.jp